

王南通信

令和4年4月12日 第1号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



ありがとうのあふれる学校に
しつこくまっしゅつ。



王寺南義務教育学校がスタートしました！

いよいよ王寺南義務教育学校がスタートしました。4月8日に、2年生から4年生までが学ぶ太子学舎と5年生から9年生までが学ぶ畠田学舎で、それぞれ始業式を行いました。

本来であれば、こうした節目の行事には全校のみんなが集まって行いたいところです。これから、学舎を移動して全校のみんなが集まって交流し合う機会も計画したいと思いますが、基本的には必要に応じてオンラインを活用し、両学舎をつないでいきたいと考えています。今回の始業式もオンラインで同時開催することも検討しましたが、感染対策を優先し、体育館に各学舎の全児童生徒が集まることは避けました。そこで、運動場で学舎ごとに始業式を実施することにしました。

先に太子学舎で始業式を行いました。その後、私が畠田学舎へと移動し、畠田学舎での始業式を行いました。その間、畠田学舎のみんなには始業式を待ってもらったことになります。少しでも早く担任の先生などの発表を聞きたかったでしょう。先生方も、新担任以外の先生方で協力し合って（なるべく新担任になる先生がその学級に関わらないように(^;)）、私が到着するまでの間の活動を行っていただきました。こうしたことは施設分離型の義務教育学校でこそ起こることで、奈良県で初めての分離型の義務教育学校である本校のみんな（特に畠田学舎のみんな）は奈良県初の経験をしてくれたことになります。

畠田のみんな、待つという経験からスタートさせてごめんなさいね。待ってくれた時間は、太子の小さな学年のみんなが笑顔で始業式を行っている時間でした。太子学舎のみんな、同じ学校のお姉さん、お兄さんたちが始業式を待ってくれていた姿を思いうかべてください。見えないところで支えてくれている人のことを想像し、そして「ありがとう」の思いを伝える。こうしたことをたくさん経験できるのは、王寺南義務教育学校のすてきなところかもしれません。普段会えないからこそ互いの学舎のみんなのことを想像し合い、思い合える、そんなやさしさにあふれた学校にしていきたいと思います。

保護者の皆様、校長の荒木篤人です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。この通信を、両学舎をつなぐかけ橋として、それぞれの活動の様子などを伝えてまいります。子どもたちと保護者の皆様の両方に向けて綴ってまいりますので、読みにくいこともあろうかと思いますがどうぞお許してください。



それぞれの学舎のみんなへ……

みんな、それぞれの進級、おめでとう。

いよいよ王寺南義務教育学校が開校しました。昨年度から知っている人も、初めて会う人もいます。昨年度から知っている人。また会えてとてもうれしいです。初めて会う人たち。初めまして。みんなに会えたことを心から喜んでいきます。

来週に太子学舎に迎える1年生と、畠田学舎に迎える7年生を加えて、全校児童生徒は約970人の学校となります。これほど大きな義務教育学校はこれまで奈良県にはなく、ここ南義務教育学校と北義務教育学校の2校が県で初めてできることとなります。

太子学舎で過ごす1～4年生と、畠田学舎で過ごす5～9年生は普段は登校のときに顔を見る程度で、いっしょに過ごすことはあまりできませんが、離れていても同じ学校のなかまです。これからオンラインで顔を合わせたり、時にはいっしょに行う活動を計画したりしたいと考えています。児童生徒会のみんなは、離れた学舎のみんなの心をつなぐ活動をぜひ提案、計画してください。

太子学舎の4年生のみんな。太子学舎では君たちが最高学年です。新1年生の手伝いはじめ、みんなが安全に登校したり、しっかりと掃除をして学校をきれいにしたり、何より学校生活を楽しく過ごせるように、いろいろな所で気を配ってほしいと思います。太子学舎のこと、よろしく頼みます。

畠田学舎の9年生のみなさん、みなさんはこの南義務教育学校の柱です。学習や部活動をはじめとするみなさんの活動にまずは全力を注いでください。みなさんはそれぞれのこれからの進路を切り拓いていく1年、義務教育を卒業していく大きな節目の1年を迎えます。自分たちの行うべき活動に、真摯に自分らしく取り組んでいく姿が、8年生までのみんなのよき目標となります。南義務教育学校のみんなのために、そして何より自分自身のために、この1年よろしく頼みます。

今、ここにいるみんなそれぞれ、新しい学級のなかまと出会ったところです。これから1年間、よきなかま、友達として助け合って過ごしていきましょう。南義務教育学校のキャッチフレーズは、これまでの「元気なあいさつ 明るい笑顔 楽しい学校」と「ひ・ふ・み—響き合い 触れ合い 磨き合い」を引き継ぎます。そして加えてもう一つ、「ありがとうのあふれる学校」としたいと思います。

私は、まず今日ここでみんなと出会えたこと、そしてこれからいっしょに過ごせることをとてもうれしく思っています。みんな、ありがとう。

みんなそれぞれが、きっとだれかを支えていて、だれかに支えられています。だれかに支えられていることに気づいたとき、そのだれかにありがとうの思いを、言葉を、しっかりと伝えていきましょう。

今日から、同じ学級や学年のみんなと、先生たちと、そして、ここにいる南義務教育学校のすべてのメンバーでいっしょに過ごしていく1年を、最高に楽しい1年にしていきたいと思います。